

# 整備効果① 広域ネットワークの形成

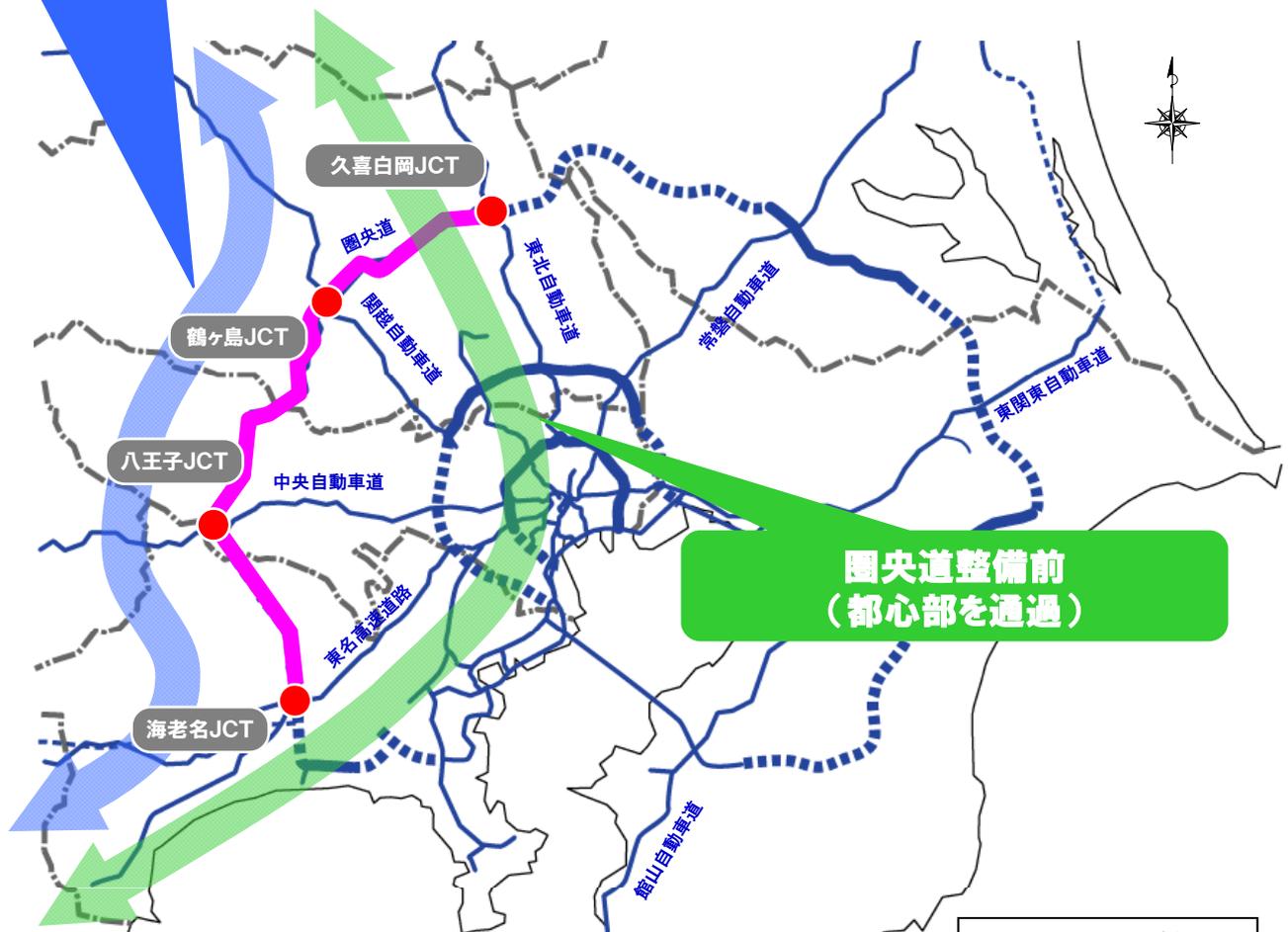
■圏央道の整備により東名高速道路や中央自動車道などの放射道路を結ぶ※広域ネットワークが形成され、都心部への通過交通の抑制が期待されます。

・高尾山ICから八王子JCT間は、東名高速道路と中央自動車道を結ぶ区間の一部となっています。

今回の開通区間は、平成22年2月に開通した海老名JCTから海老名IC間や、今後開通が予定されている海老名ICから高尾山IC間と一体となり、東名高速道路と中央自動車道を結ぶ広域ネットワークが形成され、都心部を通過していた交通の抑制による混雑緩和や、圏央道に並行する国道16号・国道129号などの周辺道路の混雑緩和が期待されるとともに、各高速道路間の移動時間短縮などが期待されています。

※東名高速道路と中央自動車道が接続するのは平成25年度の予定です。

圏央道整備後  
(通過交通の都心部流入を抑制)



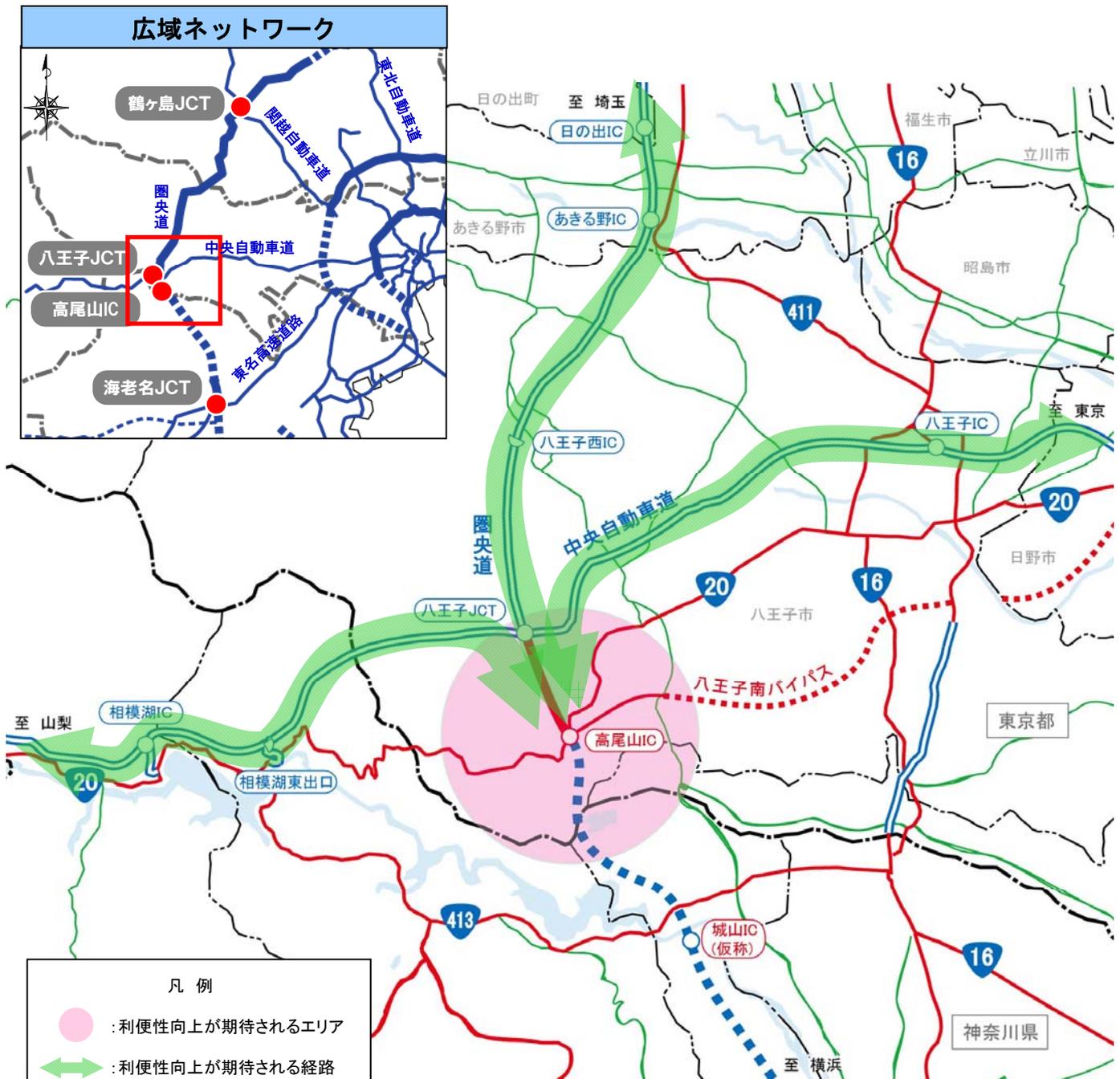
圏央道整備前  
(都心部を通過)

凡例	
■	整備前の経路
■	圏央道整備後の経路

## 整備効果② 高尾山IC周辺地域の利便性向上

■ 圏央道(高尾山IC～八王子JCT)の開通により、高尾山IC周辺への移動時間短縮など利便性の向上が期待されます。

・ 圏央道(高尾山IC～八王子JCT)の開通により、中央自動車道や圏央道(埼玉方面)から高尾山IC周辺地域への移動時間が短縮されるほか、アクセスルートを選択肢が増えるなど利便性の向上が期待されます。



# 整備効果③ 地域活性化の支援

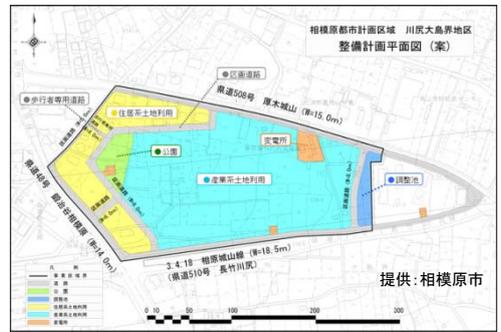
■ 圏央道整備に伴う新たな拠点整備により、地域の活性化に期待が寄せられています。

- ・ 東名高速道路と中央自動車道とを結ぶ圏央道沿線では、産業用地の創出や環境に配慮した住宅地の整備等を目的として新たな拠点整備が進められています。
- ・ 平成25年度に予定されている相模原IC(仮称)から高尾山IC間の開通により、東名高速道路と中央自動車道が接続し、周辺地域の利便性が向上することから、企業誘致の促進や地域の活性化に期待が寄せられています。



### 城山IC(仮称)周辺

- 川尻大島界地区整備促進事業
- ・ 相模原市緑区川尻地区(約6万㎡)
- ・ 城山IC(仮称)周辺地区という交通利便性を生かした土地利用を促進。



提供: 相模原市

### 相模原IC(仮称)周辺

- 当麻地区整備促進事業
- ・ 相模原市南区当麻地区(約81万㎡)
- ・ 相模原IC(仮称)周辺の立地特性を生かし、産業を中心とした複数の都市機能による環境と共生した「新たな都市づくりの拠点」を形成。



提供: 相模原市

### 相模原IC(仮称)周辺

- 内陸工業団地
- ・ 神奈川県内陸工業団地(約235万㎡)
- ・ 相模原IC(仮称)周辺地区のため、更なる利便性向上に期待。

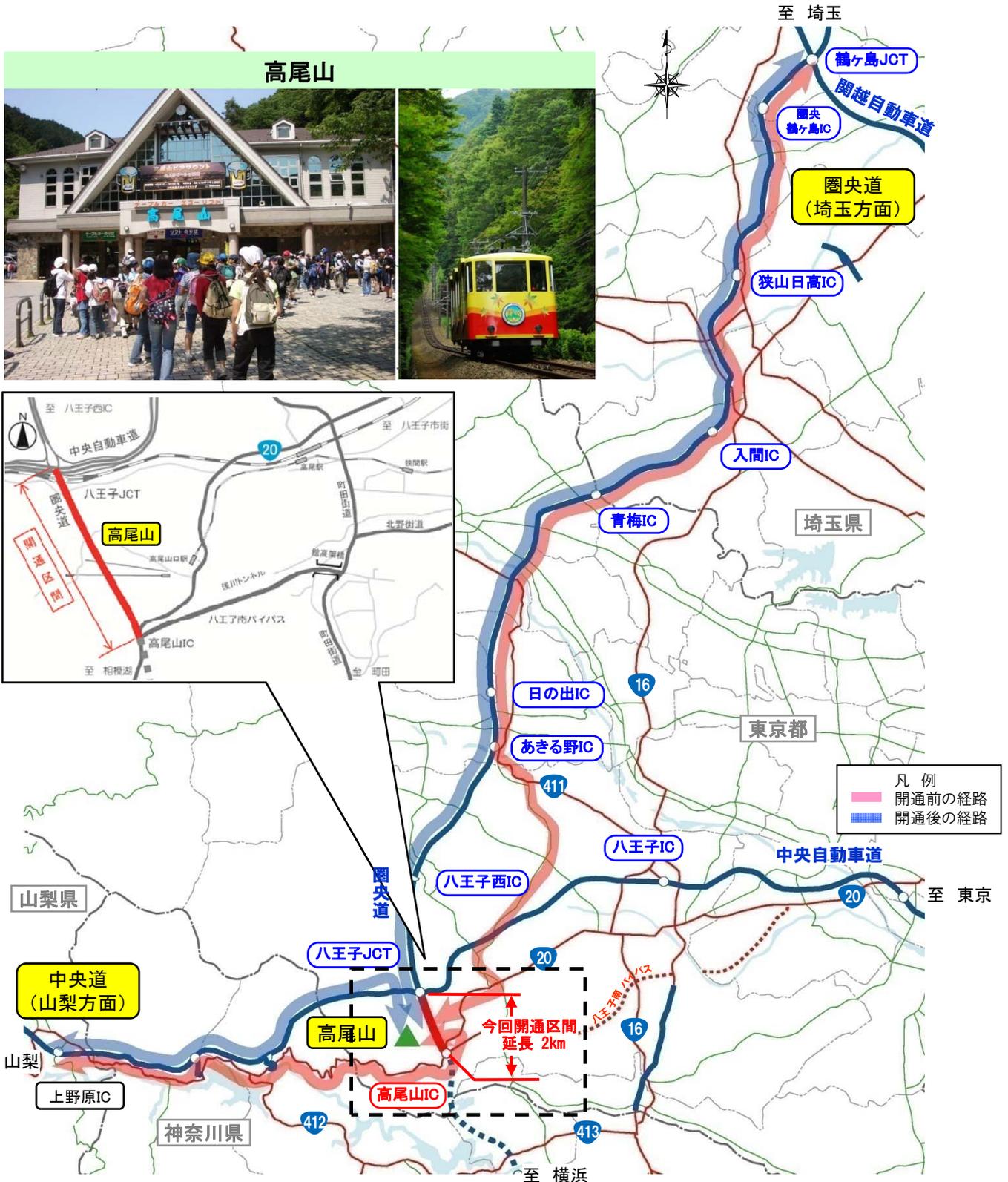


提供: 神奈川県内陸工業団地協同組合

# 整備効果④ 観光の支援

■圏央道(高尾山IC~八王子JCT)の開通により、高尾山への時間短縮が見込まれます。

・圏央道(高尾山IC~八王子JCT)の開通により、中央自動車道(山梨方面)、圏央道(埼玉方面)から高尾山への移動時間短縮が見込まれます。



# 整備効果⑤ 医療圏域の拡大

■圏央道(高尾山IC~八王子JCT)の開通により、第三次救急医療施設へのアクセスが向上します。

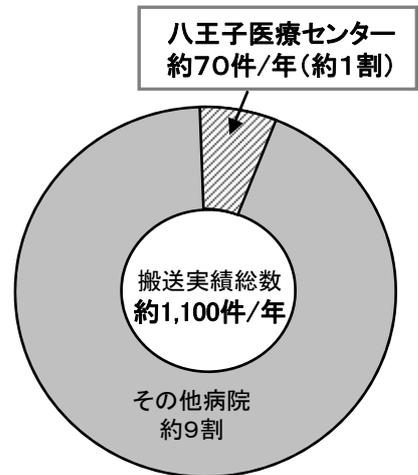
- ・中央自動車道上野原ICから第三次救急医療施設である東京医科大学八王子医療センターまでの所要時間が短縮し、救命活動の向上が期待されます。



## 【山梨県上野原市の消防関係者からの声】

- 現在の山梨方面から八王子医療センターへの搬送実績は約70件/年（全体の約1割）
- 圏央道（高尾山IC~八王子JCT間）が開通したら、八王子南バイパスと合わせて、八王子医療センターまでの大幅な所要時間の短縮を期待している。

出典:ヒアリング結果(平成22年度調査)



出典:ヒアリング結果(平成22年度調査)